

家計簿におきかえてみると…

川崎市の一般会計を家庭の収支におきかえて眺めてみましょう。

限られたお金を活かし、バランスのとれた使い道を考えるという点では市の予算と家計は似ています。スケールを身近なサイズに変えて「川崎市の財政」を実感してみましょう。

例えば年収を500万円とすると…

収入月額		支出月額	
月収	お父さんとお母さんの給料 市税等の自主財源	食費 人件費	126,000円
	416,700円	医療費など 扶助費	163,700円
		ローンの返済 公債費	60,700円
義務的経費 車の購入・自宅の増改築・修繕費 投資的経費など		82,700円	
役所からの助成金・奨学金 国・県支出金など		子どもへの仕送り・おこづかい 補助費等・貸付金・繰出金など	
171,600円		136,700円	
各種ローンの借入金 市債発行		光熱費・被服費 物件費	
45,700円		64,200円	
収入計 634,000円		支出計 634,000円	



食費や医療費など「義務的経費」の部分は支出の中で大きな割合を占めていることがわかります。

貸借対照表 バランスシート

川崎市では、財政状況をよりわかりやすく説明する取組として、企業会計的手法による財務書類を作成しています。その一つが貸借対照表です。「貸借対照表」は、本市にはどれだけの資産と負債があるのか、現在保有している資産はどのような財源で形成されているのかを表しています。

民間企業会計に準じた財務書類
平成29年度一般会計等決算



資産 土地、建物、金銭など、市民共有の財産

負債 借入金など、将来に支払いや返済が必要となる債務

純資産 資産から負債を差し引いた残高。借金によらず、過去・現在の負担により形成した資産

※金額は、各項目の億円未満を四捨五入しているため、純資産の金額と資産から負債を差し引いた金額が一致しない場合があります。
※民間企業会計に準じて作成したもので、資産のすべてが売却可能なわけではありません。